



こんにちは、ふちせ栄子です。

電話 095-849-6481 メール eiko@mail.117.cx ホームページ [ふちせ](#) [検索](#)

大盛況。1350人が参加した日本共産党演説会 「被爆地長崎から憲法9条守れの声を」と、ふちせさんが訴え



2月12日、小池晃参議院議員・党政策委員長を迎えて開いた日本共産党演説会には、ここ数年では最高の1350人が参加し盛況でした。

小池晃参議院議員は、日本の政治には①侵略戦争忘却病②大企業べったり病③アメリカ依存症の3つの大きな病気がある」とあり、ユーモアを交えながら詳しく紹介。その病気を治す日本共産党の処方箋について語り、会場から共感の拍手がたびたび起こりました。

ふちせ栄子党県国会議員団事務局長は、国政選挙へ挑戦することになった動機を語り、今の悪政で苦しめられている障害者施設の実態を紹介しながら、日本共産党の躍進で格差社会なくそう、と訴えました。また、被爆者の話に涙した自らの体験ふまえ、「被爆地長崎から9条守れの声を、私に届けさせてほしい。いっせい地方選挙と参院選挙に勝利するためにご支援を」と呼びかけ、大きな拍手に包まれました。

演説会の参加者からは、「ふちせさんの挨拶もとてもよかったです。言葉がハッキリしていて聞き取りやすい。話す内容もとてもよかったですし、語気を強めた場面があって、あれもよかったです」など、感想と激励が寄せられました。



郵便局のサービス守れ

西海市長を激励、郵政長崎県本部には申し入れ



郵便局の配集業務廃止を強行しようとする、郵政公社。ふちせさんは、公社の長崎県本部を訪ね、「地域の同意のない強行はするな」と厳しく申し入れました。

また、2月6日には、「集配業務廃止に反対」で頑張っている、西海市の山下純一郎市長を訪問し懇談。「ともに力をあわせましょう」と、激励しました。(写真)

「栄子のちょっとエッセイ」から

NHKギャラリーで開かれていた「戸田清・桑迫賢太郎絵画展」の最終日に、やっと時間がとれて行ってきました。

戸田清さんは、私が町議時代に、大型ごみ処理施設建設の問題で講演を聞いたことのある長崎大学環境科学部の助教授です。絵を画かれることは全く知りませんでした。戸田さんには、ずうずうしく、しかも、「できれば若く美しく」と無理な注文をして似顔絵を画いていただきました。

絵画の持つ伝える力を感じながら、候補者として伝える力をもっと身につけたいと思ったひとときでした。(2月6日付)

ふちせ栄子ホームページで好評連載中です

「春をよぶ女性のつどい」では石井副委員長と



石井副委員長と

ふちせ栄子さんは、「私は、サッカーはできませんが、暮らしを守るゴールキーパーの仕事はできます。暮らし守れ、憲法守れの仕事は日本共産党とふちせ栄子にしかできません」と、力いっぱい訴えました。

いっせい地方選挙と参院選挙で日本共産党を勝利させようと、1月29日、女性後援会が主催する「春をよぶ女性のつどい」が長崎市で開かれ、200人が集いました。駆けつけた石井郁子党副委員長・衆議院議員が、国会の生々しい動きを紹介しながら、「国民の命綱」としての、日本共産党の議席の役割について詳しく話しました。